

開講期	2026年度前期			単位数	4.0単位
科目[授業]名	6207 現代美術の造形技法研究1			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	許可			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	火曜4限、火曜5限				
教室	D307共同アトリエ				
代表教員	佐藤 勲				
担当教員	佐藤 勲				
テーマと到達目標	立体作品の制作を通して、形態や質感、色彩、構造、スケール、空間といった造形感覚と造形言語の基礎力獲得を目指します。(経験の無い初心者でも履修可)				
概要	隔年で開講する「現代美術の立体表現研究」と「現代美術の造形技法研究」は、美術の立体表現を知識と実技演習の両面から読み解くための1セットの授業です。本年度開講の「現代美術の造形技法研究」はその実技篇。二つの授業のどちらも履修することで、より深い理解が得られます。「現代美術の造形技法研究」では、「ストラクチャー (構造)」「スペース (空間)」「フォルム (形態)」「ミーニング (意味性)」という4つのキーワードをテーマとした課題制作を行い、造形性の理解と意味や内容といった作品理解の向上を目指して行きます。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員 (複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	初回ガイダンス			佐藤 勲	対面授業
第2回	初回ガイダンス			佐藤 勲	対面授業
第3回	トラクチャー (構造) 物体の再構築			佐藤 勲	対面授業
第4回	トラクチャー (構造) 物体の再構築			佐藤 勲	対面授業
第5回	ストラクチャー (構造) 物体の再構築			佐藤 勲	対面授業
第6回	ストラクチャー (構造) 物体の再構築			佐藤 勲	対面授業
第7回	ストラクチャー (構造) 物体の再構築			佐藤 勲	対面授業
第8回	ストラクチャー (構造) 物体の再構築			佐藤 勲	対面授業
第9回	ストラクチャー (構造) 物体の再構築			佐藤 勲	対面授業
第10回	ストラクチャー (構造) 物体の再構築			佐藤 勲	対面授業
第11回	ストラクチャー (構造) 物体の再構築			佐藤 勲	対面授業
第12回	ストラクチャー (構造) 物体の再構築			佐藤 勲	対面授業
第13回	「作品展示と講評会」			佐藤 勲	対面授業
第14回	「作品展示と講評会」			佐藤 勲	対面授業
第15回	「素材研究1」			佐藤 勲	対面授業
第16回	「素材研究1」			佐藤 勲	対面授業
第17回	「素材研究2」			佐藤 勲	対面授業
第18回	「素材研究2」			佐藤 勲	対面授業
第19回	「立体研究 見立てること」			佐藤 勲	対面授業
第20回	「立体研究 見立てること」			佐藤 勲	対面授業
第21回	「アースワーク」			佐藤 勲	対面授業
第22回	「アースワーク」			佐藤 勲	対面授業
第23回	「アースワーク」			佐藤 勲	対面授業
第24回	「アースワーク」			佐藤 勲	対面授業

第25回	「アースワーク」	佐藤 勲	対面授業
第26回	「アースワーク」	佐藤 勲	対面授業
第27回	「アースワーク」	佐藤 勲	対面授業
第28回	「アースワーク」	佐藤 勲	対面授業
第29回	「作品展示と講評会」	佐藤 勲	対面授業
第30回	「作品展示と講評会」	佐藤 勲	対面授業
成績評価の基準	成績は、出席状況と作品の提出数及び評価、授業への取り組みを総合的に判断します。		
履修にあたっての留意事項	制作が中心となる講座のため、履修希望者が多い場合は、使用教室の規模と安全な授業運用のため選抜を行う場合があります。		
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細			
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件			

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	材料について、授業予算で用意する課題もあるが、履修者に用意または購入してもらう場合もあります。また、特殊な工具を除き、カッターや接着材などの個人制作に必要な道具類は履修者自身で用意してもらいます。		
教科書	特になし	教科書(ISBN)	
参考文献	その都度、授業内で提示する。	参考文献(ISBN)	

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	<p>本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること</p>
--------------------	---